公共投資に「創造力」

舗装維持管理計画

道路舗装のアセットマネジメント

○道路舗装の維持管理業務体制の確立
○舗装の最適補修工法及び補修サイクルの適用によるトータルコストの削減
○道路整備計画目標を達成するためのPDCAサイクルの構築
○道路利用者の満足度向上を目指した維持管理業務の実現
○道路舗装の維持管理業務における各種情報及び補修履歴の蓄積と確実な更新

舗装維持管理の現状と課題

◆舗装維持管理の現状

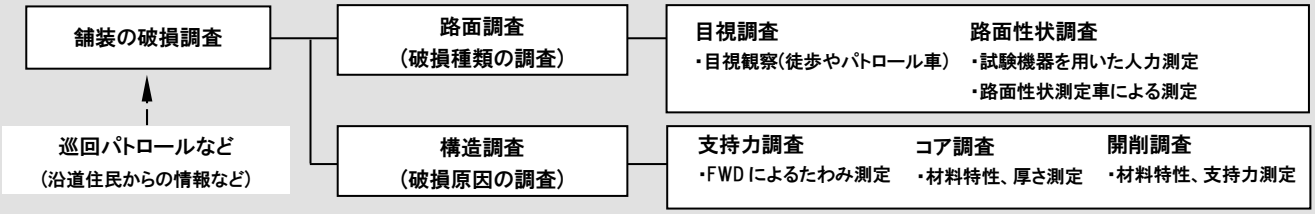
○舗装補修対応実施や予定箇所の選定は、巡回結果に基づいた経験的判断により行われている。
○路面性状の定量的な把握は行われていない。あわせて交通量など利用実態を示すデータも不足しており長期的展望に立った計画的補修の実施が困難である。

◆舗装維持管理の課題

○舗装の現状を定量的に把握、評価していない中で経験的判断に頼った維持管理法を計画的維持管理に転換する必要がある。
○効率的な維持管理の実施により、コスト縮減を推し進めていく必要がある。

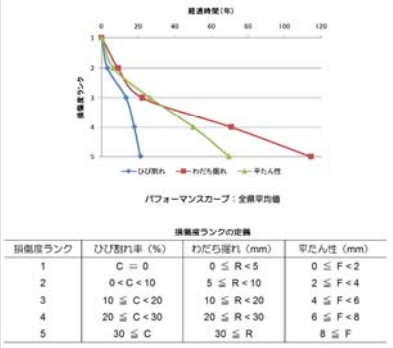
路面性状調査による舗装評価

○対象とする道路が幹線道路か生活道路かといった重要度や、定期的な調査か補修設計のための調査なのかといった目的などにより、目視調査と路面性状調査、構造調査の三つの舗装の破損調査を組み合わせて実施。
○舗装の破損調査の区分

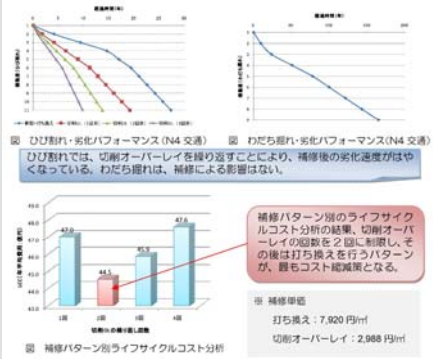


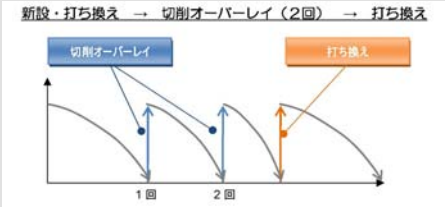
舗装劣化予測

○路面性状調査結果よりひび割れ、わだち掘れの劣化予測モデルを推計



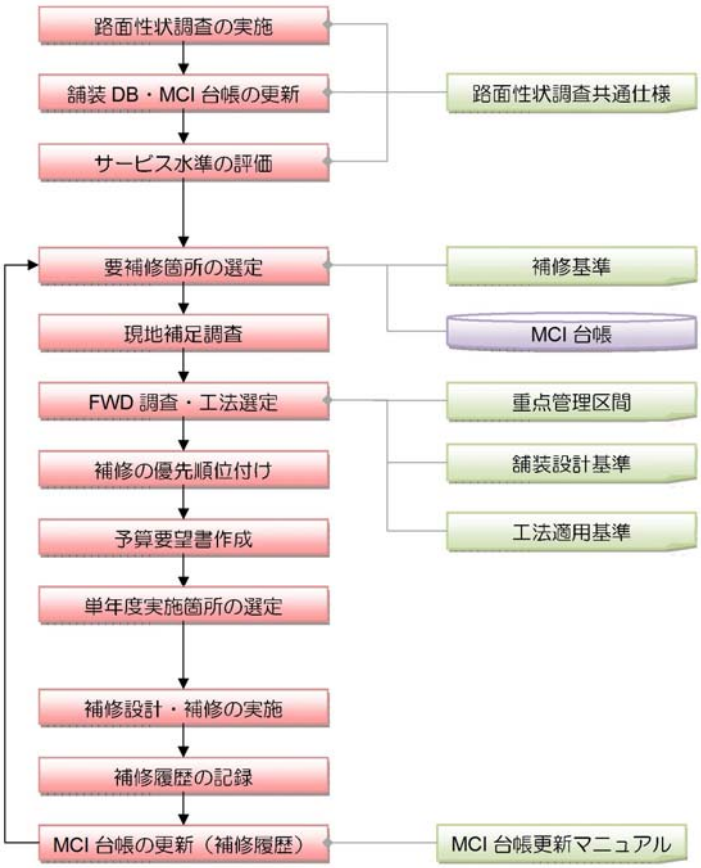
損傷度ランク	ひび割れ率（%）	わだち掘れ（mm）	平たん性（mm）
1	C ＝ 0	0 ≦ R＜5	0 ≦ F＜2
2	0＜C＜10	5 ≦ R＜10	2 ≦ F＜4
3	10 ≦ C＜20	10 ≦ R＜20	4 ≦ F＜6
4	20 ≦ C＜30	20 ≦ R＜30	6 ≦ F＜8
5	30 ≦ C	30 ≦ R	8 ≦ F





舗装維持管理フロー

○補修すべき箇所を選定、補修箇所に対する予算要求資料を作成し、予算確定後補修を行い、その結果を台帳に毎年反映させる。さらに、路面性状調査を定期的に実施し、調査を実施した路線の舗装DBと台帳を更新する。



お問い合わせは

●本　社　：〒930-0142　富山市吉作 910 番地の 1　　http://www.shinnihon-cst.co.jp
TEL　：076-436-2111　FAX：076-436-2260　E-Mail：info@shinnihon-cst.co.jp
北陸エリア　新桜町オフィス、金沢支店、小矢部事務所、営業所：新川・魚津・立山・高岡・射水・砺波・南砺・氷見・津幡・能登・志賀・輪島・七尾・中能登・福井・新潟
関西エリア　大阪支店、営業所：関西・和歌山
（担当）社会基盤部門　道路グループ
株式会社 新日本コンサルタント